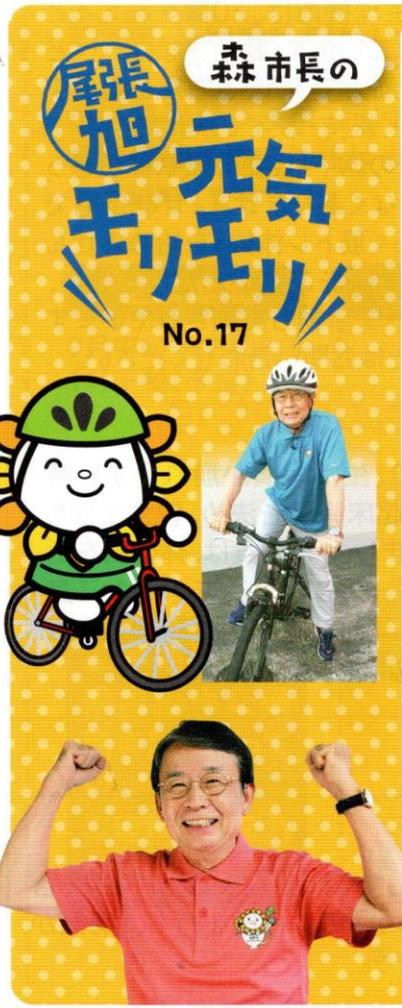




尾張旭市発刊 「広報おわりあさひ」より
 2020年8月15日 No.1401号
 P14「尾張旭 森市長の元気モリモリ」
 ～市内をサイクリング～



市内をサイクリング

新型コロナウイルス感染症の収束への兆しがなかなか見えないため、コロナに注意しながらの生活が日常となりそうです。市民の皆さんには引き続き3密を避け、「新しい生活様式」の実践にご協力をお願いします。

さて、国内で新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた2月下旬～6月の間、市内各種団体などの会議・総会、イベントがほとんど中止となり、自宅にすることが増えました。市独自の支援やコロナ対策に悩む毎日でした。

緊急事態宣言が解除され、県内の感染拡大が収まってきたので、6月の晴天の日曜日に白鳳、渋川、瑞鳳、本地ヶ原、三郷の各地区を自転車で訪

ねてみました。10年ほど前に買ったマウンテンバイクですが、とても気分良く走ることができました。

矢田川の河川敷を走った際には、ウグイスの声を聞いたり、澄んだ川を見たりして、自然にふれることができ、とてもリフレッシュできました。

また、散歩する人や自転車に乗る人とすれ違う際には、道を譲る時にあいさつを交わすなど、人とのふれあいも感じられ、最高の時間でした。

最近、新型コロナウイルス感染症の影響で、公共交通機関を避け、自転車を利用する人が増えたと耳にします。自転車に乗る時、ヘルメットは必須アイテムです。そして、スピードを出し過ぎず、安全運転で、快適なサイクルライフを過ごしてください。